

♪お知らせや学校だよりのカラー版、行事予定等を学校ホームページで掲載しています。ご覧ください♪

高く 広く 強く 豊かに



学校だより



2024（令和6）年3月5日

伊賀市立阿山中学校

No.14 伊賀市千貝 10 番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

# 卒業式とは？ ～第52回卒業証書授与式にむけて～



「卒業式」…正式には「卒業証書授与式」といいます。

この行事は、学校教育法という法律に定められていて、その学校における教育課程を修了した事を祝う式典です。学校教育の仕組みができあがった初めからある伝統行事です。これまで連続と続いてきた、いってみれば学校の歴史そのものです。

卒業証書の番号がそのあらわれの一つです。



1972年度に阿山中学校として統合されてから第52回を迎える今年度の卒業生は、4786人となります。保護者や地域の皆さまの中には、その一人だという方も多くいらっしゃるはずですが、

その積み重ねの先に今年の卒業生が巣立ちます。

地域の皆さまにとっては地域で育てた子どもの晴れ姿を、保護者の皆さまにとっては我が子の成長を確認する場です。このような意義を持つ行事は他にはありません。したがって、学校の最大行事ともいえます。

学校での指導は、「中学校を卒業する成長した姿」という『型』を示す必要があると考えて準備します。卒業生は、その目指す姿を理解し、それを全力で表現するのです。立ち居振る舞い、身だしなみ、返事、言葉、合唱等、そのすべてに全身全霊を込める行事なのです。

私は、卒業生一人ひとりが主役だと思っています。その一人ひとりの見せ場である返事、所作、そして集団の証となる合唱で「有終の美」を飾ってもらいたいと願っています。「有終の美」とは「立派な結果」や「最後までやり遂げる」、または「最後に素晴らしい成果を残す」という意味を表す言葉です。言うまでもなく、1・2年生や教職員は、今も主役となる卒業生のために着々と準備をすすめています。在校生は、全力の歌と拍手で主役を盛りたてます。そして、3年生への敬意を自分たちの姿勢で表現します。

1・2年生にどのような姿を見せるのか…保護者・地域の方々や先生方にどのような言葉を残すのか…一人ひとりが考え、答えを出してほしいと願っています。

ぜひ、2023年度卒業生の「有終の美」を私たちにを見せてください！

# ☆ 3 / 1 ぜんこうしゅうかい さんそうかい 全校集会と三送会がありました！

## ＜3月全校集会＞～3年生と一緒にできる最後の全校集会～

後期委員会各代表からの振り返りと次年度への引き継ぎの発表のあと、1/24に行われた「伊賀市中学生議会」に阿山中学校を代表して参加した2人からの報告がありました。この中学生議会は、本年度初めて実施されたもので、18歳には選挙権を持つことになる中学生に「伊賀市の未来をともに考えてもらう機会にしたい」「今の中学生の率直な意見を聞かせてほしい」という趣旨で行われたものです。



各中学校の代表者からは、「伊賀市の伝統文化・産業・観光・交通、伊賀市の活性化について、防災

について」などが質問され、市長や各分野の部長さんから直接答弁がありました。

阿山中学校からは、校内で事前にアンケートをして全校生徒の意見を吸い上げ、生徒会本部役員で吟味した結果「無料で学生が使える自習室を伊賀市内各地に設置し、地域の活性化につなげたい」という意見を出しました。代表として参加した3年生

さんと、さんからは、「実際の議場で、議員席に座らせてもらい、市長から答弁をいただくなど貴重な体験ができた」「伊賀市のことがこれまで以上にわかり、将来の伊賀市について真剣に考える機会となった」などの感想が発表されました。



## さんそうかい ＜三送会＞～生徒会から感謝の気持ちをこめて～

午後からは、「Stand up against...」（立ち向かえ...）をテーマに、リモートで各教室をつないで三送会が実施されました。生徒会本部が企画・進行し、楽し



いクイズや「思い出のスライドショー」で盛り上げ、最後には、実行委員を中心に作成したプレゼントが披露されました。



3年生は、クイズ一つひとつをクラス全員で考え、正解・不正解にかかわらず大歓声をあげて

いました。そんなところにも「どんなことも全力で楽しめる」カッコいい先輩の姿がありました。



プレゼントには、1・2年生からはお世話になった先輩に対する感謝の気持ちが込められ、3年生からは後輩へのメッセージと阿山中を託す思いが込められていました。互いにこの阿山中の仲間としての絆を確かめ合う素敵な時間となりました。

